

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|---------|----------------|
| 事業所番号 | 3890700077 |
| 法人名 | 有限会社エンジョイライフ |
| 事業所名 | グループホーム 楽生苑 |
| 所在地 | 愛媛県大洲市松尾465番地1 |
| 自己評価作成日 | 平成27年3月7日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS |
| 所在地 | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成27年3月18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| <p>理念の笑顔・慈愛・共に楽しく生きるをモットーに、ご利用者に対してまずは笑顔で接することを心掛けています。外出時はご利用者全員で参加していただき気分転換を図っています。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| <p>昨年4月に開設したグループホームで、小規模多機能事業所と有料老人ホームを併設しており、法人代表者直筆の理念が居間に掲げられていた。毎月のカンファレンスには、法人代表者も出席し、「見返りを求めず、利用者が笑顔になる生活を支援することの大切さ」等について話をしている。</p> <p>地域の文化祭に出かけた際には、目の不自由な利用者にも、知り合いの方が声をかけてくださり、ご本人は、「声で誰だか分かった」と笑顔になられたようだ。併設する小規模多機能事業所と行き来するうちに仲良くなった方があり、行ったり来たりして、おしゃべりを楽しまれている。ご自宅近くの商店に、買い物に行くことを希望する方をお連れすることもある。利用者は、おしゃべり等することも楽しみのようだ。</p> <p>毎月2～3回は、事業所で食事を手作りする日を設定しており、希望に沿ってカレーやおでん、煮物等を作っており、利用者は、食材を切ったり、味見や盛り付け等を、いきいきとされるようだ。調査訪問日の昼食は、広島に住んだことのある利用者を中心に、広島風お好み焼きを作っていた。お誕生日会には、毎回お刺身をメニューに採り入れており、皆の楽しみとなっている。魚嫌いの方には、肉料理や揚げ物で代替えている。</p> |
|--|

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|--|---|----|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 有限会社エンジョイライフ

(ユニット名) グループホーム 楽生苑

記入者(管理者)

氏名 中田 大輝

評価完了日 27年 3月 7日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------|------|--|--------|--|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | (自己評価) | 笑顔・慈愛・共に楽しく生きるの理念に沿って、職員一同ご利用者の支援に努めている。 |
| | | | (外部評価) | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | (自己評価) | 地域の行事や奉仕活動に参加して交流を図っている。 |
| | | | (外部評価) | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価) | 当事業所が主体となりイベントを開催し、地域の方々に参加していただき、交流を図ることができた。 |
| | | | (外部評価) | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--------|--|
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | |
| | | | | 運営状況の報告を行い、委員の方々にご助言や質問等いただいている。内容的には、主に報告になっているので参加者の気をひくような会にしていきたい。 |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | 管理者は、会議内容が、「取組みの報告や情報交換に止まっている」と感じていた。今後さらに、「消防署や派出所の方の参加」をお願いしたり、事業所からも意見交換できるような「テーマを挙げていきたい」と話していた。事業所が困っていることや相談したいこと等も取り上げながら、地域の方達とともに取組みをすすめていかれてほしい。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | (自己評価) | |
| | | | | 医療・介護や地域の情報を知る事ができ、質問に対して適切なアドバイスをいただいている。とても話しやすい。 |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | 運営推進会議に、市の高齢福祉課の担当者が参加しており、時期に応じて、熱中症予防に水分補給を心がけることや感染症についても注意喚起がある。法人行事「癒やしの森」にも参加して見学された。 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) | |
| | | | | その人らしい生活を大切に職員一人一人が意識しながら、身体拘束しないケアに取り組んでいる。 |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | 玄関は施錠していない。居室ベッドでの立ち上がり時、転倒の心配がある方には、ベッドサイドにマットを敷く等して対応している。外に出たいような利用者の様子が見られた時には、職員が外に誘い、庭でお花を見たり、町の様子を眺めて気分転換ができるよう支援している。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|--|
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) ご利用者の立場に立った支援を心掛け、職員同士が気を付け合い虐待防止に努めている。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 管理者やケアマネージャーは権利擁護に関する研修を受講している。しかし、理解不足なところもあり今後の課題でもある。 | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 主にケアマネージャーによってご利用者とご家族にサービス内容を説明し、また質問があれば随時対応しながら納得した上で契約を進めている。 | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) ご利用者・ご家族からの要望があった時は、運営に反映されるよう柔軟に対応している。 直接は言いづらい意見も聞けるように今後は意見箱も設置していきたい。 (外部評価) ご家族のほとんどの方が月に数回来訪されており、職員は、その都度、利用者の状態や生活の様子を報告して、要望や意見を聞くようにしている。県外に住むご家族の中には、2ヶ月に一度ほど帰省して、利用者の自宅で一緒に過ごすような方もある。ご家族から、「筋力の維持のため毎日100回ステッパーをさせてほしい」と要望する方もあり、職員が回数チェック表を作って、利用者が毎日楽しく行えるよう支援している。 | 開設から一年が経過した時期を捉えて、管理者は、事業所便りの作成を検討している。又、敬老会にはご家族も誘う等、利用者がご家族と一緒に過ごす機会をさらに増やしたいと話していた。ご家族は利用者の暮らしをともに支えるケアパートナーでもあり、今後さらに、信頼関係を築けるような取り組みをすすめていかれてほしい。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------|------|--|---|---|
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) | |
| | | | 毎月実施している業務カンファレンスで、代表者や管理者が職員の意見や要望を聞き実践につなげている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 管理者は日頃から、職員の意見や要望を聞くことを心がけており、職員は「遠慮なく話せて働きやすい職場」と話していた。毎月のカンファレンス時には、業務やケアについて話し合い、法人代表者も毎回参加して職員の意見を直に聞くことに努めており、業務の役割分担の見直し等もしている。職員からの提案で、毎日午前中にリハビリ体操を行っている。 | 職員の研修受講等については、今後、積極的に取り組んでいきたいと考えている。事業所内でも年間計画を立てる等して、職員が必要な知識や技術を勉強できるよう取り組まれてほしい。職員個々のレベルアップから、事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) | |
| | | | 個々の要望を聞きいれながら就業環境の整備に努めている。しかし、人手不足ということもあり改善点もある。 | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) | |
| | | | 職員自ら研修に参加できておらず、今後の課題になる。 | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価) | |
| | | | 相互研修、他研修へ参加し同業者との交流や学ぶことで、サービスの質の向上に努めている。3ヶ月に1度市内の管理者が集まる連絡会を通して、お互いの運営状況や研修テーマについて話し合い情報交換・共有を行っている。 | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) | |
| | | | 職員が随時寄り添いながら、コミュニケーションを図り本人の要望に答え、安心で安全な生活ができるように努めている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) 開設当初は、職員一同運営内容を周知しきれておらず、ご家族にご迷惑をおかけした。要望や苦情等に対して親身に聞き入れ対応していくように努めている。 | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) ケアマネージャーが事前に調査し、その情報を主にサービスを提供していき、ご利用者の支援に努めている。 | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) ご利用者一人一人のペースに合わせた生活支援を心掛けて、馴染みのある関係づくりに努めている。 | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 状態の異常時には連絡をしたり、面会時には生活の様子を報告しながら、ご家族と一緒に支援できるように努めている。 | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 地域行事に参加した時には、馴染みのある地域の方々からご利用者に声をかけていただいたり、知人のところへ車で訪問したり関係の継続に努めている。 (外部評価) 地域の文化祭に出かけた際には、目の不自由な利用者には、知り合いの方が声をかけてくださり、ご本人は、「声で誰だか分かった」と笑顔になられたようだ。併設する小規模多機能事業所と行き来するうちに仲良くなった方があり、行ったり来たりして、おしゃべりを楽しまれている。ご自宅近くの商店に、買い物に行くことを希望する方をお連れすることもあり、利用者は、おしゃべり等することも楽しみのようだ。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|---|--|---|
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 1人1人の性格や力を把握し、時には職員が間に入りながらご利用者同士が助け合い、楽しみ長く生活していけるよう支援している。 | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) 入院した際、ご家族と連絡をとったり定期的にお見舞いに行き、状況把握し関係性を大事にしている。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 日々の会話や生活の様子をみながら、ご本人の希望に添ったプランを検討し取り組んでいる。 (外部評価) おやつの時間を利用して、職員は、利用者とゆっくりお話する時間を作っており、個々の状態や気持ちを把握できるよう取り組んでいる。目の不自由な利用者は、事業所での生活に不安な面もあるようだが、職員は、その気持ちに寄り添うことに心がけ、じっくりお話を聞いたり、知人に会えるような場に出かける等して、生活にゆっくり馴染んでいけるよう支援している。 | 職員が得た情報を職員間で共有できるように、アセスメントの様式等も工夫してはどうだろうか。これまでのこと、現在の生活、今後の暮らし方の希望等、情報をもとにした支援を実践して、利用者がその人らしい暮らしを継続できるよう取り組まれてほしい。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 以前の担当ケアマネージャーより、情報を収集し経過や状態の把握に努めている。 | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) ご利用者と積極的にコミュニケーションを図つことで、過ごし方や心身状態の把握に努めている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | (自己評価) ご本人やご家族の要望を取り入れながら、毎月のケアカンファレンスで課題やケアについて話し合い、その人に合った計画作成に努めている。 | |
| | | | (外部評価) ご家族の来訪時に聞き取ったケアや暮らしへの要望や、毎月のケアカンファレンスで話し合った職員の意見を採り入れて、介護計画を作成している。介護計画の支援内容には番号を付けており、日々の介護記録には、番号と支援状況を記録して3ヶ月毎の計画見直しにつなげている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) ご利用者の行動や発言等をそのまま個別記録に記入することで、新たな気づきや思いを発見し実践へ活かしている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | (自己評価) 地域密着型ということもあり、地域との関わりを大切に一人一人に合ったケアに努めている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | (自己評価) 地域資源を把握し活用しながら、その人らしい生活ができるよう支援している。 | |
| | | | (外部評価) | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 定期的にかかりつけ医の往診があったり、毎日FAXでも状態を報告し、情報を共有できる関係を築けている。 | |
| | | | (外部評価) 協力医は定期の往診と必要時にも往診を受けられるようになってきている。法人内に看護師を配置しており、又、週1回、訪問看護師も来られており、気になることがあれば、その都度相談している。夜間ポータブルトイレを使用する方の中には、夜間数十回使用するような様子があり、夜勤職員が対応していたが、ご本人の体力等も考えて、主治医と相談しながら薬も用いて調整しているケースがある。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | (自己評価) 訪問看護師が来所された際、ご利用者の状態を報告したり助言をいただいたりしている。訪問報告書がFAXで送られてくるので、参考にしてご利用者の体調管理に努めている。 | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | (自己評価) 入退院時または面会時に情報交換を行い状態の把握に努めている。 | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価) 現段階では職員の力不足もあり、方針的には看取りの取り組みはしていない。重度化や終末期になる前にご家族とかかりつけ医と相談しながら、今後の方向性を決めている。 | |
| | | | (外部評価) 開設にあたって、事業所と協力医で「重度化した場合の方針」について話し合いの場が持たれ、看護職員の配置や職員のスキル、体制のことを踏まえ、現在は、「事業所では看取りは支援しない」ことになっている。終末期の支援については、利用者やご家族の希望をお聞きして、利用する側の希望に沿った支援が実践できるような体制作りが期待される。職員のレベルアップ等にも取り組まれてほしい。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------------|------|--|--------|--|
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) | かかりつけ医に連絡して指示を仰ぎ、場合によっては訪問していただいている。応急手当や初期対応の訓練・研修に参加していない職員もあり、今後の課題となる。 |
| | | | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) | 年に2回火災・地震の避難訓練を実施している。 |
| | | | (外部評価) | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) | 1人1人の人格や思いを大切に声かけのトーンに気を付けながら敬意をもって対応している。 |
| | | | (外部評価) | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) | ご利用者の要望や自己決定ができるような声かけやかかわりを行い努めている。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 活動と休息のバランスをとりながら、1人1人のペースに添った支援をしている。 | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | (自己評価) ご要望に合わせて訪問の理美容院に来ていただき、カットやパーマをしたり、職員が切れる範囲であれば切ったり髪をしばったりしている。 | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) ご利用者の好き嫌いを聞き出して、できる限り配慮している。準備・片付けをしていただき自立支援を促している。 | |
| | | | (外部評価) 栄養士が立てた献立に沿って、法人建物1階にある厨房で作った食事が届くようになっている。居間には、その日の献立を書いて掲示している。毎月2～3回は、事業所で手作りする日を設けており、希望に沿ってカレーやおでん、煮物等を作って、利用者は、食材を切ったり、味見や盛り付け等を、いきいきとされるようだ。調査訪問日の昼食は、広島に住んだことのある利用者を中心に、広島風お好み焼きを作っていた。普段の食事時には、ご飯や汁物を注ぎ分けたり、おしぼり丸めや台拭き、下膳、食器洗い等、それぞれができることを行えるよう支援している。お誕生日会には、毎回お刺身をメニューに採り入れており、皆の楽しみとなっている。魚嫌いの方には、肉料理や揚げ物で代替えている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 摂取量や水分量を把握し、栄養管理に努めている。 | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | (自己評価) 毎食後の口腔ケアの声かけを行い、できる限りご自分で義歯や残歯を磨いていただき、最後に職員が確認している。困難な方は介助したり、歯間ブラシも利用している。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | (自己評価) 移乗やズボンの上げ下げ等、1人1人の力を大切に自立支援を行っている。 | |
| | | | (外部評価) トイレは共用部分に3ヶ所あり、すべて広めの造りになっている。便座の両脇に可動式手すりを取り付けてあり、立ち上がり時に使用している。夜間は、職員の声かけでトイレに行く方やパッドを使用してゆっくり就寝する方、夜間のみポータブルトイレを使用する方等、それぞれの状態に合わせて支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | (自己評価) 体操・運動をしたり、朝は乳製品を摂取していただいたりと可能な範囲で予防に取り組んでいる。便秘時は主治医と相談し下剤で調整している。 | |
| | | | (外部評価) | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価) 本人のその日の体調や希望に合わせて入浴している。1人1人の習慣パターンを理解し支援している。 | |
| | | | (外部評価) 入浴は、毎日、午前中に準備して、利用者個々に週2回程度入浴できるよう支援している。同性介助の希望や利用者の入浴介助の状態に合わせて職員のシフトを組み、全員が浴槽で温まれるよう支援している。又、利用者の入浴ごとにお湯を入れ替えており、一番風呂を好む方の希望や湯加減も好みに合わせて支援している。シャンプーやボディシャンプーは個々に好みのものを買に行ったり、ご家族が用意したものを使用している。冬場には、柚子湯を楽しまれる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | (自己評価) 日々の活動とバランスを図り本人の要望や状態に応じて休息できるよう支援している。 | |
| | | | (外部評価) | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|---|
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) | |
| | | | 主治医の指示のもと、安全で適切に服用できるよう服薬内容や用量を理解した上で支援状態観察している。 | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) | |
| | | | 日常生活の中で家事やレク等を通して、1人1人の力に合わせた役割、楽しみができるよう働きかけている。 | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) | |
| | | | ご利用者みんなが楽しめるように行事として花を見に外出支援をしている。ご家族の協力も得ながら外出・外泊の機会もある。 | |
| | | | (外部評価) | 2ヶ月に1回、季節の花や自然にふれ合う外出を計画し、皆で外出している。1月には、利用者にとって馴染みのある神社に初詣に出かけられた。日常的には、ドライブに出かけたり、希望があれば地域のスーパーに出かけて、日用雑貨やおやつ等の買い物ができるように支援している。道の駅に寄った際には、食べたいお惣菜を買って帰る方もあるようだ。普段から交流のある市内のグループホームに出かけて一緒にそうめん流しを楽しむようなこともある。 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | |
| | | | 1人1人の思いを大切にご家族の理解・協力も得て、本人の希望でお金を所持したり実際に買い物に行けるように支援している。 | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | |
| | | | 本人希望時に家族に電話させていただいたり、その都度対応している。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>ご利用者が不安になるようなものは、取り除き季節を感じていただけるように掲示物を工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>山の中腹に立地しており、山々や街の景色が一望できる。庭の花壇や玄関先には花を整備している。「来訪者に見ていただきたい」という思いから、居間には行事や外出時の写真にコメントを付けて掲示している。利用者同士で描いた似顔絵や、季節を感じさせる桜の飾り付けもされていた。又、利用者が見やすいように大きく数字を書いた手作りカレンダーもあった。調査訪問日の午前中は、皆で日課のリハビリ体操を行い、昼食用にキャベツを刻んでいる利用者の様子が見られた。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>気の合う利用者同士や合わない方等、随時把握し職員が配慮しながら対応している。</p> | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の希望に応じて、居心地が良く生活しやすいよう工夫している。 なかには家から家具や私物全てを持参されている方もいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の入り口には、車いすを使用する方も見やすいよう少し低い位置にネームプレートを取り付けている。利用者は、それぞれにご自宅から馴染みの家財道具やご主人のお位牌、大正琴、裁縫道具を持ち込んでおり、ご自宅で使用していたラグをベッドの足元に敷いている方もあった。各居室には洗面ドレッサーを設置しており、毎朝、鏡を見ながら身繕いする方もある。各室に空気清浄機を設置していた。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>1人1人の力やできることを把握し、自立した安全な環境づくりに努めている。</p> | |